

2021

# 同友しずおか

# 2

VOL.507

私の逸品

(有)マルナカ河西工業

お客様に喜ばれる仕事を  
したくて今がある



# (有)マルナカ河西工業



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体制の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体制をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130  
〒420-0857 静岡市葵区藤原町3番地3号3F FAX/054-253-7820 E-mail/doyu@szdoyu.gr.jp

### 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1065 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
やざき 矢崎 あさこ 麻子	金坂社労士事務所 社労士業全般	伊東	杉山 伸也
もちつき 望月 のりお 則男	(株)フューレン 学習塾	富士宮	西鉢 亮貴
すずき 鈴木 たつひと 達仁	理仁薬品(株) 理化学試薬、機器類の卸売業	静岡	佐藤 眞己
もちつき 望月 まさひろ 正洋	(株)イハラテント工業 シートの加工(シート、テント倉庫、日除け、トラックシート、間仕切り、カーテンシート、各種カバーシート)	静岡	大多和宏明
しらい 白井 なつき 夏樹	キーマン静岡 鍵屋(24時間営業の鍵と錠の専門店)	志太	渡部 浩樹
ながの 長野 こうさく 耕作	丸長 養殖・販売(金魚・めだか、アクアリウム用品販売)	榛南	松下 幸示

### 名義変更による新名義人(敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
おきもと とし はる 沖本登志春	(有)トシズ 給排水衛生工事(水道工事、下水道工事、浄化槽工事、衛生機器販売、介護用品の販売・レンタル)	榛南	沖本 丈

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



# お客様に喜ばれる 仕事をしたくて今がある

(有)マルナカ河西工業 (浜松支部)

常務取締役 河西 千代子氏



親子でつなぐ会社のバトン  
河西 伸告氏 (中央)、河西 千代子氏 (右)、ご息女 (左)

お客様に上質な製品を提供することを目標とし36年目を迎えた(有)マルナカ河西工業 常務取締役の河西千代子氏にお話を伺いました。

## 希望と情熱で未経験からの起業

現社長で夫の河西伸告氏は1984年に勤めていた会社を退職し、希望と情熱を持って経験のないバリ取り事業を起業しました。借入金で土地・建物を買入という怖いもの知らずなスタートでしたが、従業員に恵まれ厳しい状況の中でも明るい雰囲気の中で仕事ができたことを感謝しているといいます。

## 苦難を社員と共に乗り越え、基盤を築く

「二度の経営苦境が会社と社員を成長させてくれた」と謙虚に語る河西千代子氏。「希望を持って起業し、中期の事業計画を立てるもアバウトな計画しか立てていなかった」と当時を振り返ります。事業開始から3〜4年は資金調達もうまくいかず、財務諸表の数字もさまざまなものだったそうです。そんな経験から人間力と経営戦略の知識を身に着けたいと行動してきた同氏は、経営の難しさや厳しさが増していく中で多くの気づきがあったといいます。人が力



を貸してくれる自分になること、コミュニケーション能力を高めること、信念を持ち続けること、行動力・上質な思考を持つこと等、多くの課題に取り組んだ同氏は「今の経営の基礎がこの時期にできたと思う」と語ります。しかしその後、量産の仕事を受注している製品が海外移管になり95%の仕事が一気に失われましました。救われたのはこの2ヶ月前に借入金完済されていたことでした。その後、他メーカーから仕事を頂くことができたのですが「私たちにはまだまだ試練が足りない」とでも言うかの如く、次に訪れたのはリーマンショックでした。多くの経営者が大なり小なり影響を受けたこの時は、土地・建物が自社物

件だったことに助けられたといえます。仕事量が減少し時間がたつぷりある中、生き残りへの改善や売上アップの仕組み作り等を行いました。その後は、中波、小波の出来事はあったものの仕事量も増え、従業員も17名となり、売上も最高の数字を出すことができるようになりました。そんな時、外国人従業員からの労働条件改善の要求が始まり、他の従業員を巻き込んでの騒動に発展。この時は会社の対応の優柔不断さを反省し、断固とした態度で臨み対処をしたといいます。結果6人が辞め、当初は生産に不安を残しましたが「工場内には起業当初の明るさが戻り、79歳の高齢の従業員はじめ全員が頑張ってくれている」と語ります。

## 事業承継を見据えて、会社の目指す姿

「何よりも嬉しいことは、娘が事業承継をすると長年勤めていた会社を退職し4年前に入社してくれたこと。現在では生産性や品質レベルを習得するために工場内の作業を一生懸命覚えており、従業員も協力をしてくれて感謝している」と同氏。「今後も、社員一同お客様に喜んで頂ける製品づくりを心掛け、

### (有)マルナカ河西工業

〒433-8118 浜松市中区高丘西2-10-1

TEL : 053-436-0361

URL : <https://marunaka-kawanishi.com/>

設立 1989年

社員数 17名

入会年月 2019年7月

事業内容 金属部品の表面処理(アルミダイカスト製品のバリ取り加工・組立・研磨)

全社員の物心共の豊かさや社会に役立つ企業を目指していきたい」と今後の展望を語りました。

取材・記事：伊藤正浩氏  
(有)浜松プロトマインドオフィス 浜松支部



バリ取り作業の様子

環境変化を乗り越える木工業 3代目のプライド

(株)鈴木木工

代表取締役 鈴木謙克氏 (志太支部)



鈴木謙克社長 (中央) と取材陣

大井川にかかる谷口橋を曲がった土手沿いに今回の訪問先、(株)鈴木木工があります。家具の製造を行う同社の3代目代表取締役鈴木謙克氏にお話を伺いました。

**祖父の創業から一貫した木材加工業**

1958年に祖父が木材の加工業を創業。当時では珍しい機械を導入したこともあり、順調に業績を伸ばします。1972年に現在の場所に移転し、業態もフローリングの加工から家具の製造に切り替わっていきました。

1975年頃、家具の流通が劇的に変わります。家具屋さんで家具を買う文化に対し、大工さんが現地でキットを組み立てるノックダウン式家具の出現です。同社はこのノックダウン式家具の製造に大きくシフトします。

ノックダウンの場合、メーカーは大手に集約され、同社は大手の協力工場としての立場を築きます。しかし、好調な時代は長く続かず、メーカーの倒産で一瞬にして崩れ去りました。しかし先代の社長はそこでひるまず、人脈を最大限活用し、今までお付き合いのなかったメーカーに食い込むことに成功するのです。

**3代目の入社**

現社長の鈴木謙克氏は、大学で生産管理など工業経営を学び、数年の修行を経て同社に入社します。そのタイミングこそ、先代がメーカーの倒産を乗り越え、新しい取引先との関係がスタートした時でした。取引先が1社だと、また同



0.5mmの精度が要求される作業

め、設備投資に着手。その結果、繁忙期が異なるメーカーとの取引により安定的な生産体制を組めるようになりました。

**3代目の苦悩**

父が70歳になったタイミングで、鈴木氏は代表取締役に就任します。メーカーからの受注に対して工程を組み、生産・出荷、入金があり、社員へ給料を支払う。日々繰り返す業務が習慣になっていった時、「他の経営者はどうやって新しいチャレンジを創り出し、それを社内に落とし込んでいるのだろうか？」と考えるようになりました。そんな時、志太支部の松葉秀介氏(松葉倉庫(株))、河原崎茂則氏(向かわでん)、小寺敬二氏(司法書士法人みらいふ)などの友人から同友会に誘われ、オブザーバー参加した例会での入会を決意しました。

「良い機械を導入したい。売上を上げたい。人材も採



自動化が進む裁断工程

じような苦しみも味わうかもしれない。そんな危機感で鈴木氏は、新しい取引先を作るために

用したい。そういう想いをまずは押しとどめ、同友会の他の経営者の行動や考え方を学びたい」という鈴木氏の言葉から、謙虚に学ぼうとする姿勢とともに、同社を次のステージに何としても上げたいという3代目としてのプライドを強く感じました。

コロナという未経験の危機の渦中にあっても持ち前の向上心と謙虚さで、明日の(株)鈴木木工の設計図面は近いうちに完成すると確信し、取材を終えました。



出荷前の作業、先代社長は今も現役

**(株)鈴木木工**

〒427-0111 島田市阪本631-1  
TEL : 0547-38-1328

創業 1958年  
社員数 15名 (役員3名、正社員10名、パート2名)  
入会年月 2020年2月  
事業内容 ノックダウン方式の家具の製造

取材：松浦 富雄氏  
(行政書士松浦富雄事務所・志太支部)  
取材・記事：村松 繁氏  
(アイマーク(株)・志太支部)

# 東海財務局静岡財務事務所との意見交換会

## 「コロナ禍における2021年の展望」

1月29日(金) 参加18名

本年度で5回目の開催となった東海財務局静岡財務事務所との意見交換会を行いました。白瀧智彦所長（静岡財務事務所）をはじめ、各課長の皆様と昨年引き続き当会会員の沼津、三島、島田掛川信用金庫の各理事、同友会からは井上代表理事、遠藤会長、各副代表理事の総勢18名が出席しました。今回は感染症対策として同友会会議

室とZOOMのハイブリッドにて開催しました。

はじめに井上代表理事、白瀧所長からの挨拶後、水谷理財課長より「コロナと戦い、コロナ後の新しい社会を築く」金融行政方針や第3次補正予算における経産省の取り組みについて説明頂きました。続いて沼津、三島、島田掛川信用金庫より「コロナ禍における信用金庫の対応・今後の展望」を説明頂きました。各金庫ともコロナ感染初期に取引先の財務状況の把握や緊急融資などスピード感をもって取り組んだこと、今後は本業の立て直しのため、各金庫の強みを生かしながら伴奏型の企業支援を取引企業と共に二人三脚で取り組んでいく力強い決意が共有されました。



前列左から 遠藤会長、井上代表理事、白瀧所長、河瀬課長  
後列 秋山局長、鵜野課長、水谷課長



白瀧 智彦所長

同友会からは遠藤会長から景況調査の結果報告を行い、その後「コロナ禍における2021年の展望」をテーマに意見交換を行いました。会員企業が抱える

### 当日ご参加いただいた関係機関の皆様 (敬称略、順不同)

静岡財務事務所	氏名
所 長	白瀧 智彦
総務課長	河瀬 克志
財務課長	鵜野修一郎
理財課長	水谷 有里
信用金庫	氏名
沼津信用金庫 理事	石塚 賢
沼津信用金庫 地域創生部 課長	山本 裕二
三島信用金庫 理事 元気創造部長	今泉 清司
島田掛川信用金庫 理事 地方創生室長	三浦 忠司



各信用金庫より取り組みを紹介

課題や先行き不安に対し、企業と金融機関が、地域経済を支えるパートナーとして常に対話しながら、企業の実態把握と有効な支援制度の提供、資金繰り支援など意見を

最後に副代表理事より「地域を存続させるために私たち中小企業は事業を継続し利益を生み出し続けていくことが必要である。そこに一緒になって伴走してくれる地域の信用金庫に深く感謝したい。地域の未来を共に創るよき相談者として今後も金融

行政、地域金融機関と情報交換を重ねていきたい」と挨拶しました。青山副代表理事より参加感想を頂きましたので紹介します。

**参加者感想**

静岡財務事務所と各信用金庫からの「最近の金融行政方針」「事業承継支援」「教育ローン利子補給」「リスクマネー



の供給」など具体的な取り組みについての報告ののち、遠藤会長から「最悪の状況で脱したかに見えるが今後は不透明・不確実」と470社（回答率44.2%）の会員企業から回答いただいた2020年12月の景況調査についての報告がありました。自社事業との関連でいえば、財務事務所からの報告の中にあつた「事業再構築補助金」（ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築を支援する補助金）が印象に残りました。アフターコロナをどう迎えるか、今のまま継続し風の通り過ぎるのを待つか、それとも業態・業種などの転換をしていくか、事業を再構築するか、そんな自問の中で、我々経営者の背中を押してくれるかもしれない政策であり、あとはいかに活用するかだと感じました。もう少し時間が、と思うほどに充実した意見交換会でした。

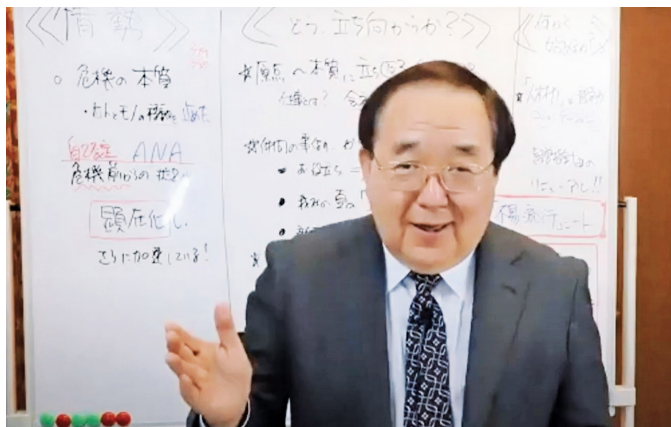
青山達弘氏（株青山建材工業・副代表理事）

## 静岡・志太支部合同例会

# アフターコロナを生き抜く経営戦略 経営指針成文化と実践の大切さを学ぶ

1月20日(水) 参加 60名 ZOOM

講師の丸山博氏(有第一コンサルティン  
グ・オブ・ビジネス/東京同友会)より  
「今後の経済動向と中小企業の経営戦略」  
アフターコロナを生き抜くために経営者が  
すべきこと」をテーマにご講演いただきま  
した。志太支部では、同友会の経営指針を  
創る会等でも講師歴のある同氏を講師に招



丸山 博氏

いた例会を継続して開催してきました。そ  
して今回静岡支部でも講師に呼びたいとの  
声があがり、2支部合同で開催する運びと  
なりました。当日はZOOMを通して県内  
外より60名が参加し、経営指針書に基づく  
経営実践の大切さを学びました。

講演では、はじめに国内外の情勢や政治  
経済動向を解説。コロナによる移動制限等  
により今までの経済活動の在り方が崩れ、  
IT化への対応の遅れなど企業の抱えてい  
る問題が顕在化したこと。そして中小企業  
も今までの在り方を見直し、時代の流れに  
乗ることが大切と伝えました。また、転換  
と危機の時代に対応するために大切なのは  
「原点」に立ち返ることだといいます。企  
業とは、価値を作り出して社会に貢献し、  
構成員の物心両面の幸福を実現する組織。  
「つまり商売の原点は『お役立ち』であり、  
我々の働く目的は『幸福』になることであ  
る」と話しました。最後に「まず自社の強  
みや顧客のニーズを知り、求められるお役  
立ちがどのようなものかを考え、新しい価  
値を提供していくことが大切。そのために  
経営指針を常に見直していく必要がある」

と話し、環境変化の時代に立ち向かう第一  
歩は経営指針を作成・見直し、実践するこ  
とだとまとめました。

### 参加者感想



政治経済動向が更  
に加速する中、我々  
は経営戦略をしっか  
り練り実践すること  
またコロナ禍におい

ても経営を維持発展させている企業の事例  
を模範とし、経営者特有の固定観念は崩し  
先を見据えた経営をすることが大切と感じ  
ました。経営指針をリニューアルしていく  
うえで、スタッフと情報交換を密に行い、  
積極的にチャレンジしていく時だと強く思  
いました。同友会の会員とも相互に協力し  
あい、企業の課題を解決する知恵を出しあ  
い、アライアンスを強化していきたいと考  
えました。

本例会の学びの実践として、自社ではビ  
ジョンをスタッフと共に語り合い、未来の  
方向性をさだめ、役割分担をし活動して参  
ります。スタッフには、生活・企業発展ご  
支援業として使命感を持ち、人生をかけて  
自分自身と愛する者を幸せにすることが働  
く意味であると教えています。今後も皆様  
のお役に立つ人間育成を職場を通して行っ  
て参ります。

大畑 邦明氏

(株)セーフティプロジェクト・志太支部

### 1月イントロセミナー

同友会で学んだ、社員と  
共に育ちあう会社づくり

1月22日(金) 同友会事務局&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を  
知って頂く機会として、また大変革に挑む  
仲間との交流の場として毎月開催している  
イントロセミナー。1月は同友会事務、Z  
OOMあわせて17名(内3名オブザーバー)  
が参加しました。野川和三氏(株)野川商  
店・榛南支部)が同友会での学びを報告。  
経営のことが分からず悩んでいた時同友会  
に入会し、経営指針書を作成した野川氏。

毎年指針書を更新しており、今では若手社  
員が積極的に新しい技術の習得に取り組み  
など、目指している「共に育ちあう会社」  
に一步步近づいているといいます。「あ  
の時すぐに入会してよかった。皆さんもぜ  
ひ同友会で自発的に学びの場に参加してほ  
しい」と最後に伝え、入会予定の参加者か  
らは「自身が変わることが会社を変えるこ  
とに繋がると強く感じた。これから同友会  
で学んでいきたい」  
との前向きな感想が  
ありました。



野川 和三氏

次回イントロセミ  
ナーは2月26日(金)  
小川友代氏(株)仕出  
しおがわ・富士支部)  
が報告します。ぜひ  
ご参加ください！

第12講 1月6日(水)

## 混沌の時代を楽しもう！

講師：下山昇一氏  
(有)下山製作所・三島支部



下山 昇一氏

祖父が築いた会社の3代目として、自動車関連部品の製造業を営む下山氏。前職では経営者になるという目標を見据え、いかなる経験も自らの糧にしてきました。営業職で苦労しながらも「人を売らない」「心を売らない」謙虚な心を持ち続けたことが今に生きています。社長となった現在、下山氏は「従業員は家族」と考え、社員が生きがいを持って働けるようコミュニケーションをとることを大切にしています。会社で目標を設定する際には、社員と話し合い、過去の取り組みや相手の価値観を受け入れながら決めるようにしています。下山氏は、混沌の時代だからこそ、自分自身を見失わないように、自分の軸や価値観を知ることが大切だと学生に伝えます。そして「自分を知り、他者を知り、いかに人生を楽しむか考えてほしい」とエールを送りました。

第13講 1月13日(水)

## ダメ社長たちから学んだ経営学

講師：増田崇氏  
(有)リアス・榛南支部



増田 崇氏

事業コンサルタントを経て保険業や事業再生を営む(有)リアスを継いだ増田氏。会社を継いで最初に取り組んだことは経営指針書の作成でした。最初は「三方よし」の考え方を理念に掲げましたが、経営の中で、保険など目に見えないサービスを提供するにはお客様からの信用が不可欠であるという思いから「世のため人のため、ひいては自分のため」と理念を変え、想いをより明確にしました。また社内環境の面では、今いる社員を大切にすると共に女性が働き続けられる職場づくりを推進しており、「働く環境日本一の保険代理店」を目指しています。最後に起業を考えている学生に向けて「ビジネスは誰かの役に立っているか、そして自身がどのような会社を描くかが大切」と、また、「今後の人生において、社会に出た時の自分、初心を決して忘れないでください」とメッセージを伝えました。

第14講(最終講) 1月20日(水)

## NO NUKESービキニの海は忘れない

講師：杉村 征郎氏  
(杉村精工(株)・志太支部)



杉村 征郎氏

杉村氏が平和への想いを強めたのは、中学生の時に起きた第五福竜丸被ばく事件でした。アメリカによる水爆実験で被ばくした第五福竜丸が焼津港に帰港してからの様子を目の当たりにした同氏は、仲間と共に「原水爆反対」署名活動を開始。この活動は全国各地で行われましたが、日米政府間の水面下でのやり取りや政治的な問題から、徐々に「ビキニ事件」を語るものがタブーとなり、被害者である乗組員たちが町を去らなければならぬ状況にまでなっていました。時を経て、全国から集まった原水爆禁止3000万署名活動の成果により、世界の人々が原水爆の被ばく者の窮状を知ることとなり、2021年1月に発効された「核兵器禁止条約」へと繋がりました。最後に同氏は「自分の力で考え、事実を知り、他からも自らにも騙されない力をつけてほしい」と学生に伝えました。

## 静岡同友会 2020年下期景況調査 HP・e.doyuより集計冊子を配信しています



景況調査集計冊子

2020年11月から12月にかけて実施した「会員企業の景況調査」では、470社の会員の皆様からご回答を頂きました。ご協力いただき、ありがとうございました。県政策委員会と静岡大学先生方のもと集計データをまとめた冊子が左のQRコードよりご覧頂けます。(HP・e-doyu掲示板からもアクセスできます)※以下本文より結果を一部抜粋。

全体：最悪の状況を脱したかに見える日本経済～今後はいまだ不透明・不確実～  
 製造業：先の見えない予測 長期戦も覚悟  
 建設業：現在の業況判断はプラス値も先行きは景気後退を予測  
 流通・卸小売業：売上・経常利益は マイナス値、資金繰り・設備投資は回復傾向  
 サービス業：変化に対応した新規事業構築や営業戦略により回復傾向にあるが、不安を抱えたマインドが多い

【項目】①日本経済動向、②静岡県経済動向、③調査結果概要、④業種別景気動向、⑤地域別景気動向、⑥規模別景気動向、⑦経営指針の成文化と浸透、⑧【特別調査】 i. 半年前と比べた業績の回復について、ii. 業績の回復に見込む期間 iii. 業績の回復・拡大に向けた取り組みや課題

# 2月・3月

## DOYU CALENDAR

2月16日(火)～3月15日(月)

2月16日(火)	出会いと学びと交流の場 お昼に語ろうオンライン交流会 (12:00 ZOOM) 静岡例会 (19:00 ZOOM)	25日(木)	県共同求人委員会 (19:00 ZOOM) 富士例会 (19:00 ロゼシアター&ZOOM)
17日(水)	伊東例会 (19:00 未定&ZOOM) 沼津例会 (19:00 ZOOM) 志太例会 (18:00 ZOOM)	26日(金)	イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM)
18日(木)	榛南例会 (19:00 ZOOM) 中遠例会 (19:00 ZOOM) 浜松例会 (19:00 クリエイト浜松&ZOOM)	3月2日(火)	出会いと学びと交流の場 お昼に語ろうオンライン交流会 (12:00 ZOOM)
19日(金)	県共育委員会 (19:00 ZOOM)	9日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
22日(月)	三島例会 (19:00 ZOOM) ZOOMホスト体験会 (17:00 ZOOM)	10日(水)	御殿場例会 (19:00 ZOOM) 正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
24日(水)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県障がい者問題委員会 (18:00 ZOOM) 県例会企画委員会 (19:00 ZOOM)	12日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
		13日(土)	中同協 第51回中小企業問題全国研究集会from福島 (10:30 オンライン&同友会事務局)



《 あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください 》

### ご案内

## 「ZOOMホスト体験会」開催中！ 例会・役員会・グループ会を活性化させよう！ ZOOMをもっと活用したい方、ぜひご参加ください！

例会や役員会・委員会をZOOMで設営する際に重要な「ホスト」の役割を学び、体験できる「ZOOMホスト体験会」を1月から毎週月曜日に開催中。未経験者にも事務局員がわかりやすくお伝えします。会社でZOOMの会議やイベントを開きたいという方にもオススメ。社員と一緒にのご参加も大歓迎です！  
今後の予定をご案内します。

日程：2/15(月) 10:00～12:00、2/22(月) 17:00～19:00  
参加方法：ZOOM お申込みはe-doyuから  
内容：ZOOMホストの役割と機能（入室許可・画面共有・ブレイクアウトルームなど）についての説明、操作の体験

## 出会いと学びと交流の場 お昼に語ろうオンライン交流会開催中！ お昼を食べながら、ぜひお気軽にご参加ください！

コロナ禍でも会員同士が顔を合わせて話せる機会をつくりたいという想いからスタートした「お昼に語ろうオンライン交流会」。ZOOMにて、支部を超えた交流の場として昨年10月から毎月開催しています。「我が経営を語る！社長TV」を視聴し、近況報告や意見交換を行っています。  
今後の予定をご案内します。

行事：「出会いと学びと交流の場 お昼に語ろうオンライン交流会」  
日程：毎月第1・3火曜日の12:00～13:00（途中入退室も自由です）  
参加方法：ZOOM お申込みはe-doyuから  
内容：近況報告（自己紹介）・YouTube「我が経営を語る！社長TV」視聴・意見交換やフリートーク

